

生涯学習館

28日(水)は館内整理日のため休館です。
 年末年始:29日(木)～1月4日(水)
 開館時間 平 日10:00～19:00
 土・日 9:00～17:00

満足度98%

富士河口湖町図書館協議会より 生涯学習館利用者アンケート結果報告

アンケートにご協力ありがとうございました。

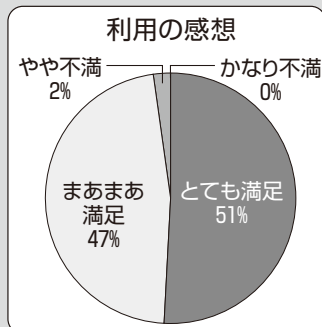
利用者のご意見を生かしたよりよい図書館にするため、平成23年8月1日～8月31日の1か月間図書館利用者の皆様を対象にしたアンケート調査を実施しました。回答者総数は327名で、満足度調査は、なんと98%と、とてもうれしい結果となりました。

図書館協議会からのお願い

ご意見には、「蔵書が豊富で新刊が多い」「託児サービスがありがたい」「親切に本を探してくれる」「素早い対応がありがたい」木造建築のメリットである「木の香りが落ち着く」「ぬくもりがある」等の感想が多数ございました。しかし、デメリットとして、「靴音や声が響く」などの指摘もございました。

当協議会では、このアンケートの結果を受け、生涯学習館は赤ちゃんからお年寄りまでの生涯にわたる個人学習を支援する施設であるため、利用者の皆様一人ひとりが気持ちよくご利用頂けるように、他人に迷惑にならないよう、お互いにマナーを守って利用して頂きたいと願っています。

足音が気になる対策としては、スリッパを設置いたしました。また、話し声が響いて気になるというご意見もございましたので、皆様が快適に生涯学習館をご利用いただけるようご協力をよろしくお願いいたします。



1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第60回読書会

日時:1月28日(土) 午後2時～

場所:生涯学習館 学習室1

課題:「ケインとアベル 上下巻」

ジェフリー・アーチャー 著

新規参加者大募集!!

斎藤惇夫氏講演会

演題「現在(いま)、子どもたちが求めているもの」

日 時:平成23年12月10日(土) 午後2時

場 所:富士河口湖町中央公民館 視聴覚室

参加費:無料

お申込み:電話もしくは富士河口湖町生涯学習館カウンターへ

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象(午前10時30分～)

ブラウンベア(えいご) 12月13日(火)

うさぎのおやこ 12月27日(火)

●幼児～小学生低学年対象
(午後1時30分～)

パパのえほんタイム 12月10日(土)

イトワールの会 12月24日(土)

12月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	20日(河口 4時15分～ 大石 4時45分～)
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	15日(午後3時30分～)



申込み・問い合わせ／生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-Mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

〈町の誕生祭〉 ～熱い絆のグループ活動～

富士河口湖町女性交流センター

みずうみ通信



十月二十三日は前日より雨天の予報の為に、町の誕生祭に出店をするボランティアグループの販売は屋内でする事になった。関係各位の早急な対応により、各グループの出店準備は順調に運び、狭いスペースながら、隣接した同士は和気藹藹とした雰囲気の中で開会の準備が整った。

ステラシアターのホールの開会式は二人の若者の司会によつて始まり、町長の挨拶の後子供達の手にした七彩の風船が一勢に放されドームから広い空に勢いよく舞い上がった。

その後「よさこい音頭」の舞を始め、合唱合奏等多彩な催しが午後三時まで続いた。最後に抽選会が行われた。町の店舗や有志の寄附による大量の商品やチケットが当選の賞品となった。

みずうみ会員の販売品となったのは、手作り石けん（これは、家庭で天ぷら等に使った廃油で作った）と手編みのアクリルたわしと手芸品。及びじやがバターと味噌ころがし薯を売った。完売し



女連協グループは不用品バザーを行い、会員の各家庭からの貴重な品も安価に販売されて好評だった。上九一色地区富士ヶ嶺のグループは青柳さん始め会員の作った新鮮な野菜、漬物、牛乳などを出店された。

ボランティア精神により、町を盛上げようとする熱い思いのこもった町の誕生祭はつつがなく、元氣いっぱいに行われ、晴れやかな祭りの一日となった。

「歌で平和を広めたい！」

柳田 ふみ代



「世界中が平和でありますように！ みんなが幸せでありますように！」と私はシャンソン歌手として、祈りを込めて、愛

を込めて、歌っています。

そして、そのエネルギーが音霊（おとだま）となつて響けと願いながら…

私の歌との出会いは、小学六年生の時に、近くの大学の文化祭で聴いたフォークソングでした。

その時、「歌ってこんなにも人を感動させる力があるんだ」、「私もこんな歌い手になりたい」と強く思いました。

その後、実家の洋品店の手伝いをしながら歌のレッスンを続け、作家である戸川昌子さんの渋谷のシャンソニエで歌うようになりました。また、アルツハイマーの母と寝たきりの父を十年間介護し、命の尊厳を知ることができました。両親を看取った後、憧れの音楽の島、沖縄で

歌手として三年間暮らし、現在は雄大な富士山の麓で、森に囲まれて、友人と友人の母、友人の二人の姪を里親として育てながら動物たちも含めて皆で仲良く暮らしています。

老人介護から子育てまで、どんなことも全力で前向きに取り組んできました。無駄なことは何一つありません。

すべての経験が私の成長の糧になったと心から感謝しています。

「歌の宅配便になりたい！」

「歌わせてくれるところがあれば、どこでも歌う！」「聴いてくれる人がいれば、どこへでも行く！」との想いで、結婚式や誕生パーティーの他、病院や少年院などを「歌の宅配便」として全国を飛び回っています。「僕たちのために来てくれてうれしかった」と言ってくれた少年院の子供達の言葉が今でも忘れられません。

五年程前から、耳の不自由な女性への思いを歌った曲をより情感を込めて歌うために、手話を習い始めました。また十月二十三日の町の誕生祭にも出演させていただきました。明年、還暦を迎える私は、円形ホールで明年五月二十三日に、コンサートを開きます。少しでも人々を癒せるような、愛と勇気を届けられるような歌い手であり続けたいと願っています。



町の文化財紹介

いにしえ こ みち

富士河口湖古の小径

武田不動明王坐像の紹介

(富士御室浅間神社)

昭和六十三年(一九八八)二月二十七日(勝山村文化財指定)

平成十五年(二〇〇三)十一月十五日(合併により富士河口湖町指定有形文化財)

本像は、息女黄梅院の安産祈願をされ富士御室浅間神社神社への崇敬の念の厚かった武田信玄自刻の像とも言われ、『甲斐国志』中「小室浅間明神」条にも、「武田機山入道信玄ノ木造アリ坐像容貌全ク不動尊ニ異ナラズ但シ右手ニ軍配団扇ヲ握リ左手ニ独鉈ノ如キ物ヲ持ツ相伝ヘテ信玄入道手自ラ彫刻シテ当社ニ奉納セリト云フ」とあり、また、この像は、若き日の信玄が、自ら不動明王に似せ仏師に彫らしめて奉納したとの伝承をもち、世に「武田不動明王」と呼ばれている。

元来、不動明王は、「右手に宝剣、左手に羅索、頭頂部に莎髻、のちには頂蓮を、髪は辨髪に編んで左肩に垂らし、迦留羅焰光を背に、切り石を積み重ね



た台座である瑟瑟座(岩座の一種)に立つ」とされているが、本像は、宝剣も羅索も持たず、右臂は屈して膝上近く、甲を上(武田菱を刻んだ軍配を持ち、左手も屈臂して、拳を肩先近くまで揚げて独鉈柄を握っている。「武田不動明王」と呼ばれる所以であろうかと推測される。

像の総高は三三センチ、内割りのある松材の寄木造り、彩色像である。

髪は巻髪、目は天地眼(左目は全開天を睨み、右目は半眼地をみつめ)、口元から二本の牙(が)交出する(右牙上、左牙下と、二牙を上下交互に出す)。胸に、勾玉とも半月とも見紛う不可思議な形の文様が描かれ、両腕には臂・腕釧を着け、左肩から条帛を掛け、腰布はないが、腰から下に裳をまとい、右足を上にして結跏趺坐する。

頭頂部の莎髻、または頂蓮のあった痕跡は認められるが今はなく、額上部巻髪中の鉢巻の結び目の花飾りが、幾重にも花卉を重ねたように浮き出し、また、共木で彫り出された臂釧・腕釧の結び目の形態が異色で美しく、また珍しい。

背面の条帛部分と腰部から下を除き、表裏全体の彩色の跡が

うかがえ、現在、肉身部は青黒色、他はほぼ黄褐色を呈する。

眼、口唇、

牙、軍配団扇に刻まれた花菱と割菱、前記胸元の文様などを黄金や朱で彩り、その彩色は、青

黒色の肉身部や他の黄褐色部分と強いコントラストをなしている。彫出し天地眼は爛々と輝き朱彩の口元は真一文字に固く結ばれて、左右から上下に鋭い牙が突き出す。怒らせた肩、強く張った両臂、泰然と台座に跏趺坐する姿態からは、不動明王の威厳と風格が表現されて、拝する者のここに迫るものがある。

「制作年代は断定できないまでも、一応伝承に従い、室町時代末期まで遡ると推定してよいではあるまいか。」と結んでいる。

法量は、三三・〇センチ、頂顎一一・四センチ、面長七・七センチ、面深八・五センチ、耳張七・八センチ、肩張一九・四センチ、臂張二四・二センチ、膝張二七・一センチ、膝高五・一センチ、膝深二〇・一センチ、胸厚九・一センチ、腹厚一九・七センチ、軍配団扇の長さ一三・二センチ、幅五・四センチ。

【出典】『勝山村史』(下巻)より抜粋
(文化財審議会委員 大石良範)



天地眼

天地眼とは、右目が全開して天を見、左目は半眼で地を見ている形をいう。



正眼

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



富士風穴で氷床・氷筈(ひょうじゅん)の調査が始まりました

1年を通して氷床(氷筈)が見られるといわれている富士風穴ですが、今年の夏に故意と思われる氷損壊事例があり、10月25日に「富士河口湖町内天然記念物保存管理計画運用委員会」が開かれ、天然記念物の構成要素として氷があてはまるかの検討が行われました。文化庁桂調査官からは、「これまで氷を含めた指定はない」との情報もいただき、河口湖フィールドセンターの渡辺が溶岩樹型内に出来る氷筈と気温との関係を調べていることを伝え、「富士風穴でも氷が1年中あるのか、どのくらい溶けるのかを調べるのが重要で、気温の変化と氷の状態の変化の関連を調べるのは大切」との指摘をいただきました。



そこで、河口湖フィールドセンター自然共生研究室が主体となって、11月15日に委員長でもある山梨県環境科学研究所の興水先生、委員の荒井正春先生、教育委員会の杉本氏と渡辺の4名で、防水型温度ロガー(自動的に30分おきの温度が記録できる)を富士風穴内6地点に、温湿度ロガーを富士風穴外1地点に設置しました。

当日は氷筈も少なく、氷も全体的に溶けて薄くなっている、表面の一部には細い水の流れが数本ありましたが、場所によっては氷が1m以上の厚さで残っていると思われる場所もありました(写真)。

今後は、富士山アクティブレンジャーの方々にも協力頂きながら定期的に氷の状態を調べ、氷床や氷筈と気温との関係を明らかにして行きたいと考えています。

胎内神社のコウモリ 特にウサギコウモリの動き



今年のコウモリの様子を時々広報でお知らせしてきましたが、キクガシラコウモリは9月以降胎内神社では1度確認されただけで、10月には冬眠するために別の洞穴に移動したのではないかと考えています。ウサギコウモリの方は、10月17日に5ヶ月ぶりに脚輪のついたウサギコウモリが梶原真一氏によって確認・撮影され、その前後にマークした他の2頭と合わせて3頭のウサギコウモリが確認されています。その後も、5分間隔のインターバル撮影を続け、夜中の活動時間などもわかってきて、時にはちょうど飛んでいるところが撮影されたこともありました(写真)。

しかし、11月15日以降は神社の方には来ていないようで5分間隔のインターバル撮影に写らなくなっています。寒くなったので洞穴の奥で冬眠態勢に入ったのか今後の動向が注目されます。

梨ヶ原の猛禽類 オオタカ?とチョウゲンボウが見られました

今年も昨年に引き続きネズミ類(特に希少種カヤネズミ)の調査を、梨ヶ原・本栖高原・野尻草原で行っていますが、いずれの場所でもススキの葉を丸めてつくる球形のカヤネズミの新しい巣は見つかっていません。

昨年梨ヶ原では、その調査での移動中に猛禽類を見ることが時々あり、いずれも絶滅危惧種のケアシノスリ・ハイイロチュウヒ・ハイタカ・コチョウゲンボウ・フクロウ・ハヤブサの6種類を見ることが出来ました。今年は、ハイタカらしい個体を見ますが、それ以外はまだ確認できていません。しかし、10月にオオタカの幼鳥と思われる個体、11月に入ってチョウゲンボウ(写真)を撮影することが出来ました。普通に見られるトビ・ノスリを合わせて10種の猛禽が生息していることになります(昨年はコミズクを見たという人がいたので、これを入れると11種)。



珍しい猛禽類が集まるということで、冬には沢山のバード・ウォッチャーが集まりますが、それだけ餌になるネズミ類やウサギが多いともいえます。今年の冬はさらにどんな新しい猛禽類や冬鳥が見られるか、楽しみにしながら調査に向かいたいと思います。

ショート・ニュース

- NHKワールドの富士山特集が10月4日に海外に向けて放送されましたが、11月23日にNHKBS-1で国内向けの日本語字幕付きで放送の予定です。
- UTYの世界文化遺産候補紹介の中で船津胎内樹型の取材が11月17日にあり、25日に放送予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555-72-4331 (FAX 72-4341) 河口湖フィールドセンターまで

STELLAR THEATER NEWS

河口湖円形ホール
クリスマスコンサート 2011

 ミハウ・ソブコヴィアク
ピアノリサイタル
～Romantic Extreme” Chopin&Liszt”～

ショパン◆ノクターン 変ホ長調 op.9-2 / ポロネーズ第6番 変イ長調 op.53『英雄』
リスト◆カンパネラ / ハンガリー狂詩曲第2番 嬰ハ短調

※都合により一部曲目が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

数々のコンクールで審査員を務める傍ら、各地の演奏会で活躍するミハウ・ソブコヴィアク。
その高い演奏技術と“ショパンの国”ことポーランド出身の彼ならではの表現スタイルは一見の価値あり！
2011年も残りあと僅か。
フィナーレは最高の音楽と共に迎えてみてはいかがでしょうか？

2011/12/23(金・祝) 15:30 開場 16:00 開演

全席自由 一般2,500円／会員2,200円 (1ドリンク・お菓子付) ※4歳以上入場可

チケット好評発売中!!

2011年、最も忘れられぬ記憶となった三月に起こった東日本大震災。
まだその傷痕は生々しく、私たちの心に刻み込まれています。
しかし同時に、人との繋がりや絆、支えあう事の大切さを思い出せた様にも感じました。

音楽には不思議な力があります。
喜びや悲しみ…ありとあらゆる感情を孕み、時には反響し、人の気持ちを動かす力です。
私たちはその力で皆さんに何か伝える事が出来れば、と思います。
2012年も恒例の富士山河口湖音楽祭を始めとして、皆さまに喜んで頂けますよう
工夫を凝らした企画を立ち上げて行きますので、来年もスタラシアター&円形ホールを
宜しく願い致します。今年も一年ありがとうございました！

Merry Christmas !



♪自然の香りが響きわたる♪

河口湖ステラシアター & 河口湖円形ホール

<http://www.stellartheater.jp/>

このページについてのお問合せは、河口湖 ステラシアター 72-5588までどうぞ

♪優しい音が湖風に舞う♪

